

(別紙2)

令和3年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和4年3月1日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：宮古島

協定対象漁業集落名：宮古島漁業集落

協定参加世帯数：82世帯（82人）

（うち漁業世帯数：82世帯（82人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、宮古島集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

漁獲物を引き上げる前にサメに全部または一部を食べられるなどの被害があるため、漁場の管理・改善によりサメ駆除を実施し漁業被害の軽減を図ることとした。

・漁場の管理・改善（サメ駆除）



一本釣りによるサメ駆除

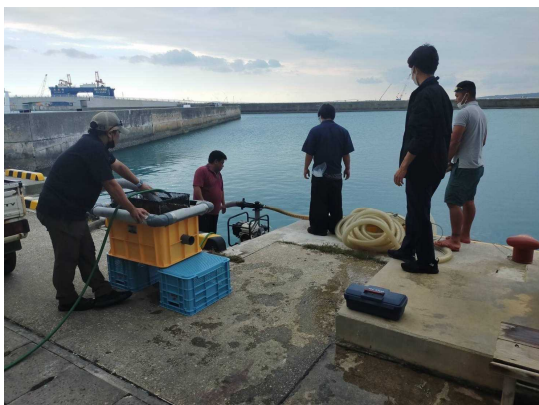


駆除したサメ

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

高付加価値化によりヨコエビ取り機の導入を行い作業の効率化、品質向上を図ることとした。また、流通体制改善により活エビ水槽の活用による漁獲物の安定供給を図ることとした。また、生け簀の設置により生き餌の安定確保を図ることとした。また、活魚水槽を製作し貝・魚類の魚価の向上を図ることとした。

- ・高付加価値化（ヨコエビ取り機）

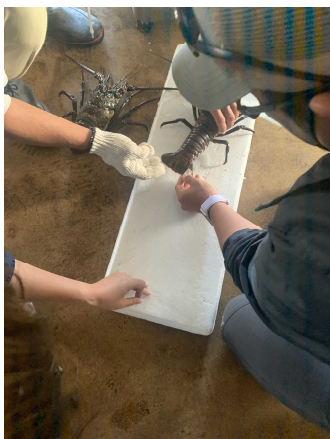


ヨコエビ取り機（製作）



ヨコエビ取り機（完成）

- ・流通体制改善（活エビ水槽活用）



イセエビタグ付け

- ・流通体制改善（生き餌活用）



リング生け簀



リング生け簀設置

- ・流通体制改善（活魚水槽活用）



活魚水槽（貝類・かけ流しタイプ）



活魚水槽（魚類・フロートタイプ）

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 2,347 千円

漁業集落漁業就業者数 82 名

漁場の管理・改善の取組でサメ駆除を実施することにより 17 匹のサメを駆除することができ、漁獲物の漁業被害の軽減及び安全操業を図ることができた。

高付加価値化でヨコエビ取り機の導入を行いモズク収穫作業時に混入するヨコエビを従来目視、手作業で除去していたが、この機械を通すことにより大幅にヨコエビが除去されるので作業の効率化、品質向上に繋がった。また、生け簀（スカリ）を設置し、活き餌を飼育できるようになり、必要に応じてスカリから回収が出来るため、出港の度に必要だった活き餌の確保の手間が省けた。また、活魚水槽（かけ流しタイプ・フロートタイプ）を製作し、貝・魚類を活かしておくことが出来るようになったため、魚価の変動に合わせて魚価の高い時に販売が行えるようになった。